

令和5年度第2回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 会議録

日時： 令和6年3月22日（金） 午後2時から午後3時

場所： 市役所地下1階 団体研修室

出席者： 星野里香（障がい福祉課課長）、  
佐藤祐太（障がい者の働くを支えるチーム）、  
馬場武士（地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム）、  
山根清孝（障がい者のつながりを支えるチーム）、  
竹内直人（障がい分野の情報を発信・啓発するチーム）、  
恩田信幸（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム）、  
三星みなみ（医療的ケア児支援チーム）

欠席者： 三浦健（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会会長）、  
菊地謙（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会副会長）

事務局： 【鎌ケ谷市障がい福祉課】高橋主幹  
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺、坂巻、岩室

傍聴者： 0名

・本日の委員の出席者数と傍聴者数の報告

本日の委員の出席者7名、会議成立の定則数の過半数を超えている旨を報告。

・部会長挨拶

1 各テーマ別チームからの令和5年度活動報告

鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）の各部会員（テーマ別チーム会議メンバーから、チーム会議における検討状況の報告があった。

(1) 障がい者の働くを支えるチーム

ア「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」を令和5年度版に更新し、関係機関等に2,000部配布した。併せて鎌ケ谷市のホームページにも掲載している。

イ鎌ケ谷市内の企業の障がい者雇用に関する困りごとを把握するため、2月に鎌ケ谷商工会所の会議に参加した。今後は、商工会議所のメンバー企業に対して「企業向けアンケート」の協力をお願いする。

ウ就労系事業所の連絡会を発足させ、年4回程度の集まりを予定している。今後は、「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」の配布もこの連絡会で実施する。

(2) 地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

昨年度の「提言書」に記載した通学バスのアンケート調査を、つくし特別支援学校と松戸特別

支援学校に実施した。その結果をまとめた「報告書」を作成し、協議会に提出する。そもそも移動支援のなり手が少ない中で、移動支援以外でどのようなサービスや資源があるのか検討し、来年度は具体的に提案していきたい。

(3) 障がい者のつながりを支えるチーム

昨年度作成した「困った！どうする!?支援者向けシート」をチームメンバーが実際に現場で使用し、使い難い点を改善して完成させた。3月中に117か所へ配布する予定となっている。来年度は、事例検討をしながらシートのよりよい活用法を考えていく。

(4) 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

2024年1月23日に「鎌ヶ谷市障害福祉サービス事業所等合同説明会～福福フェア～」を開催した。アンケートに開催時期を早めて欲しいという意見もあり、来年度は11月か12月に開催したいと考えている。障がい者本人の集客が少なかったことやアンケートの結果内容を検討し、来年度の開催について考えていく。

(5) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

昨年度までに作成した「つながるシート」を実際に市役所で使用し、改善した。最終的には、「つながるシート」（つながっている・つながっていない・退院して地域への3種類）、「状況チェックシート」、「情報提供書」を完成させた。来年度は、これらのシートを実際に活用してもらうこと、また専門職以外の方にも活用できることを考えていく。

(6) 医療的ケア児支援チーム

医療的ケア児にとって災害時は電源確保が重要なため、市内の医療機関に対し電源（蓄電池、発電機）の有無及び市民への貸出の可否についてアンケート調査を実施した。その結果、電源のある医療機関でも貸出不可であり、市民に公表できるものは無いことが分かった。蓄電池は高額なため、購入に対する助成や市で購入した蓄電池を貸し出す制度の整備を提言したい。また、福祉避難所の設置地域に偏りがあるため、その点も含めた「提言書」を作成したので協議会に諮りたい。

部会員

福福フェアについて、学校の保護者の手元にチラシや情報が届くまでに時間がかかったとのこと。とても良い活動であると反響もあったのもったいなく、今後は工夫をした方がよい。

部会長

「困った！どうする!?支援者向けシート」の配布先117か所はどのようなところか。

部会員

117か所の内訳は、市内の福祉サービス事業所、高齢者の居宅介護施設等となる。

部会員

各チームで似たような成果物（流れのシート等）を作成しているが、なかなか共有されずもつたいないと思う。テーマ別チームの編成等はどのように検討するのか。

部会長

数年前のワークショップにて地域の課題等を話し合いテーマを決めた。そのチーム編成を継続している。

部会員

ニーズも変わっていくので、毎年、チーム編成を変えた方が良いのではないか。

部会長

毎年テーマを見直すことになっていたが、新型コロナウイルス等の事情でそのままになっている。課題として検討する。

部会員

チーム会議で通学の移動支援について検討する際に、医療的ケア児のことも話題となる。医療的ケア児支援チームと連携したいが、どのように連携したらよいか。

部会員

医療的ケア児支援チームでも全員が移動支援について詳しいわけではないので、ピンポイントでどなたかにチーム会議への参加依頼をするのが良いと思う。

部会長

適任の方がいない場合は、市に申し出てくれればどなたかを紹介する。

## 2 次回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の議題について

事務局

令和6年3月29日開催予定の本会議の議題は、以下2点とする。

- ・テーマ別チームからの令和5年度活動報告（各チームリーダーより報告する。）
- ・障がいを理由とする差別解消の取組と相談事例について

→異議なし

部会員

各チームリーダーは、3月29日の本会議には最初から最後まで参加するのか。

部会長

その予定なのでよろしくお願ひしたい。

部会長

ほかになければ、閉会とする。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和6年6月28日

氏名 山根 清孝 \_\_\_\_\_

氏名 竹内 直人 \_\_\_\_\_